

術又ハ詐言ニ依ルコトヲ要スルモノニ非ズ詐術又ハ詐言ニ非ザ
ルモ甘言ニヨリテ人ヲ惑シ其判斷ヲ誤ラシムル如キモ亦同罪ノ
手段タルコトヲ得ルモノトス

(營利誘拐被告事件大正十二年十二月三日、大審院第二刑事部
判決、刑事判例集九一五頁)

カリニ營利誘拐ニアツテハ、コノ判旨ヲ正當トスルモ

2 結婚誘拐罪ノ成立ニツイテハ、決シテ「甘言」ノミヲ以テシテ
ハ、本條ノ誘惑手段トナスコトヲ得ズ。蓋シ、上述ノ如ク結婚
目的ト營利目的トハ全ク異リ、結婚目的ニアツテハ、甘言ノ手
段モ、或ハ民法上、婚姻無効、取消ノ法律事實タルコトアルベ
シト雖モ、刑法上、結婚誘拐罪ノ誘惑手段タル事ハアリ得ナイ
カラデアアル。

3 同様ニ、他人ヲ單ニ錯誤ニ陷レ又ハ錯誤ニ陷ル、ノ結果トナル
ノ事實モ、決シテ本條ノ誘惑手段タルコトヲ得ズ。

誘惑トハ、單ニ人ヲ惑シソノ判斷ヲ誤ラシメルヲ以テ足レリ
トセズ。必ズヤ詐術、詐言、甘言ノイヅレカノ手段ヲ以テ、ス
ナハチ誘惑手段ヲ以テ爲サレルヲ要スルモノデアアル。從ツテカ
カル詐術、詐言、甘言ノ誘惑手段ヲ欠クニ於テハ、カリニ他人
ヲ錯誤ニ陷レタトスルモ、本條ノ要件タルベキ誘惑手段ヲ欠ク
ノデアアルカラ本條ノ誘拐行爲トナスヲ得ズ。

4 況ヤ、單ニ結果ニ於テノミ、他人ヲ錯誤ニ陷レタトスルモ、コ
コニイフ誘拐行爲ニ該當シナイコトハ云フマデモナイ更ニ況ン
ヤ本件ノ如ク婚姻ソノ事ニツイテハ、必シモ婚姻無効ノ原因、
トクニ女ニ婚姻無意志ハナク(民七七八)民法第七八三條ノイ
フトコロノ詐欺強迫ニ該當シナイ場合ニ於テハ、ナホサラデア
ル。

5 抑モ、婚姻誘拐罪ノ要件タル誘惑ハ民法所定ノ婚姻無効取消原
因タル詐欺ヨリモ刑法ノ可罰性、違法性ノ目的上ヨリモ、一層